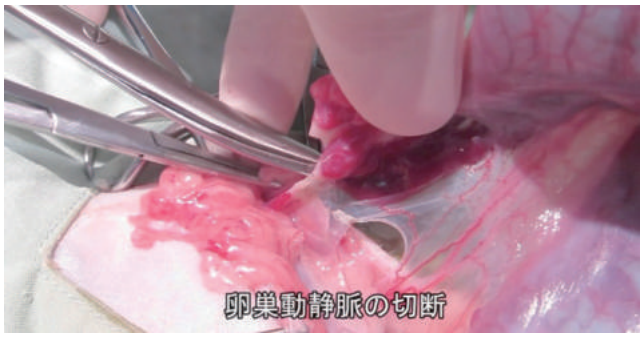
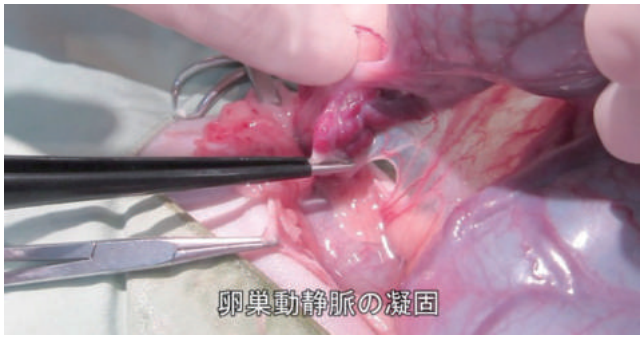
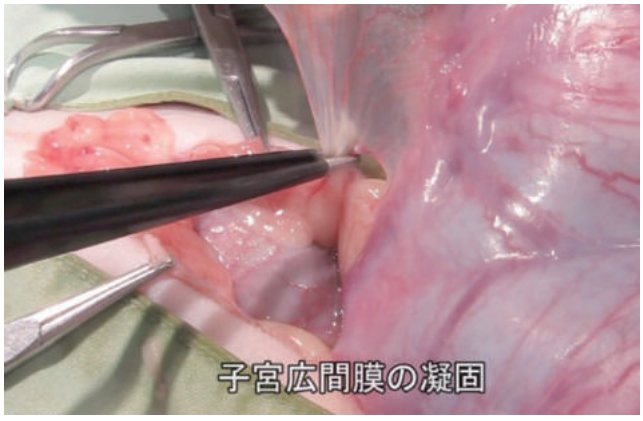
バイポーラフォーセップによる卵巣動静脈の簡易的なシーリング（猫）



（図7-1）



（図7-2）



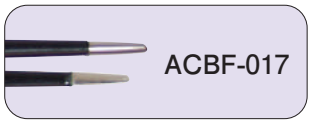
（図7-3）

治療の流れ：

動静脈の切断する箇所をバイポーラフォーセップ（ACBF-017）で挟み、組織が白く凝固されるまで通電する。（図7-1）通電部を左右に1～2mmずらし、同じ手順で凝固を繰り返す。十分に凝固できたのを確認して、シザーズで切断する。（図7-2）結紮なしで5mmまでの血管まで対応できる。もちろんシーリング専用のデバイスを使用せずバイポーラフォーセップによる簡易的な方法なので、通電部を左右にずらし、必ず2回以上は凝固を繰り返してください。

使用電極：

Ace-Tipバイポーラフォーセップ
全長：189mm / 電極外径：1.5mm



出力モードと出力：

BIPOLAR：10～25

YouTube 動画閲覧
「9.卵巣動静脈の凝固_猫の避妊（獣医科）」で検索

Q&A

Q 何mmまでの血管をシーリングできますか？

A シーリングデバイスを使えば5mmまでシーリングできます。それ以上の太さの血管であれば通電部をずらして2～3回繰り返しシーリングしてください。

Q 犬は血管が太いですが、猫同様にバイポーラで動静脈をシーリングできますか？

A はい、可能です。

Q 脾臓摘出でも血管を縛ることがありますが、そのときも同様にシーリングできますか？

A はい、可能です。